

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・タブレットや視聴覚教材を活用することで、児童が運動の仕方や技能ポイントを理解したり、自分の姿を客観的に把握したり、児童の思考や運動の到達度を担任が把握したりすることができた。
- ・体育部から提案された、学校全体での取り組み（体育朝会や全学級統一で実施した持久走）によって、どの児童も同様な運動を経験することができた。
- ・発達段階や運動経験に応じ、運動の楽しさを味わえるようなルールや課題を設定することで主体的に学習に取り組む態度を育むことができた。

(2) 課題

- ・体力テストの結果を見ると、学校全体で持久力や敏捷性に課題が見られる。学校全体の取り組みをよりよいものにしていく必要がある。縄跳びは持久力ではなく、巧みな運動として扱い、より持久力や俊敏性を高める運動を試行錯誤していく。
- ・指導内容や評価規準、学習カードの統一性が低い。体育部から学年内での情報の共有や学習カードの電子化を積極的に発信したが、周知徹底できていない。また、学年内でも体育授業の単元（ルールや課題、評価規準）が統一して指導されていなかった。学年会などで共有を徹底していく。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・主運動につながる運動を授業の最初に行い、基本的な動き方や用具の使い方の経験を幅広く身に付けることができるようにする。 ・いろいろな動きを工夫できるようにするために、いろいろな動きを経験する時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝えるためにタブレットを活用して伝え合う時間を設定する。 ・めあての確認、できるようになったことをふりかえる時間を設定し、次回の学習につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、健康・安全に留意したりできるように、学年で体育のルールを徹底して指導する。 ・体を動かす楽しさや心地よさを感じられる活動の仕方や場を工夫する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・持久力を高めるために、授業中に「縄跳びタイム」や「持久走タイム」などを授業の前半で設ける。 ・個人差の大きい技能運動では、基本的な運動の動きを少しずつでも継続して取り入れる。また児童が成功体験を得やすいように、ルール、場や用具等が緩和された運動を行い、運動技能の確実な定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者と伝え合う場を設定する。 ・自己の運動の様子をタブレットや他者との意見交流の中で確認し、動きのポイントと照らし合わせて自己の課題を見付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養うために、教師が価値付けを行う。 ・健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養うために、家庭と連携をして、児童の生活習慣を見直す。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・高学年の実態として、体力テストの項目の中で「50m走」「20mシャトルラン」の結果が全国平均と比べて著しく低い。そこで、持久力を高めるために、授業中に「縄跳びタイム」や「持久走タイム」などを授業の前半で設けることで持久力を高める。 ・手本となる動画を見せたり、自分の試技を録画して見比べさせたりすることで、技能ポイントを正しく理解したり、見付けたりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己のグループの運動の課題や身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるための時間（めあての確認・共有タイム・振り返り）を設定する。 ・自己の能力を客観的に捉えることで、自己の工夫、課題、課題に合った練習の場を見付けることができるようにする。そのために、場や資料をいくつか例示して、その中から選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合っで運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に留意したりし、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。そのために、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養うために、教員が価値付けを行う。 ・毎時のめあてや単元のゴールイメージを明確にもつことで、自分の成長を実感できるようにする。